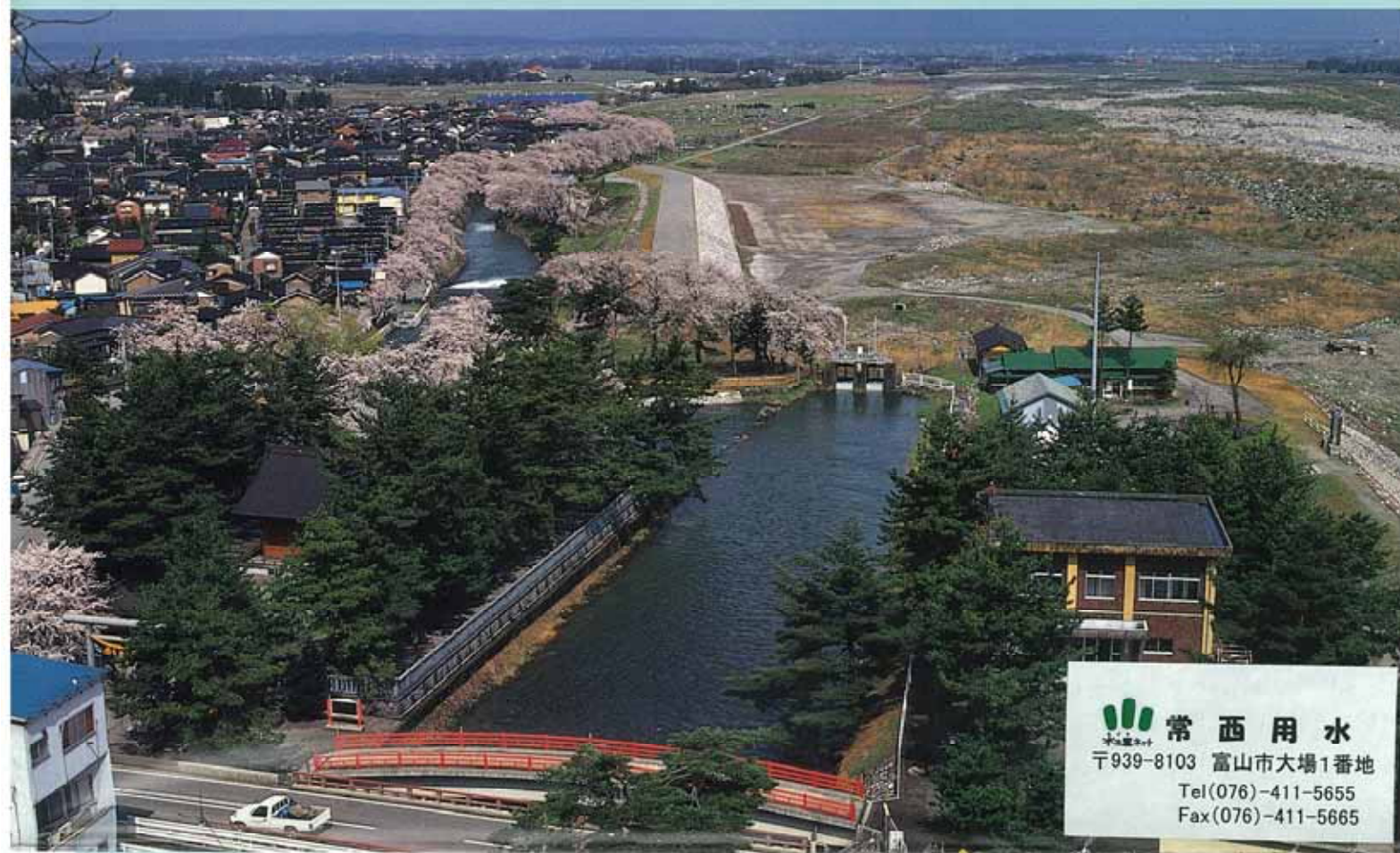


常西合口水



常西用水

〒939-8103 富山市大場1番地

Tel(076)-411-5655

Fax(076)-411-5665

常西用水土地改良区の概要

- 名称 常西用水土地改良区
- 設立 明治25年3月（上滝町外16ヶ町村組合組織）
- 組織変更 明治44年4月1日（普通水利組合）
昭和27年8月3日（常西用水土地改良区）
- 役員 理事14名、監事4名、総代70名
- 職員 5名（事務所3名、水路管理人2名）

地区内土地改良区

大庄、太田川、月岡、太田、熊野、富南中部、
清水又用排水、筏川用水、横内用排水、流杉用水、
蜷川、堀川、山室、藤ノ木、針原用水、広田用水

本用水の水源である常願寺川は、わが国著名の急流荒廃河川でありその幹支線はいずれも源を立山連峰に発し、西流または北流して、富山平野に出て日本海に注いでいる。

常西用水は立山町横江堰堤から取水し、岩峠寺地先の左右両岸分水をへて水路橋により左岸の常西用水幹線水路で導水し、各用水に分水している。そして富山平野4,980ヘクター

ルに及ぶ穀倉地帯を潤している。

また、常願寺川は流域面積、流路延長から見て、比較的小さな一級河川である常願寺川が広く世に知られているのは、土砂流出の多い荒廃河川であり、天井川を形成しているとともに著しい急流勾配河川である。

■常願寺川流域の概要

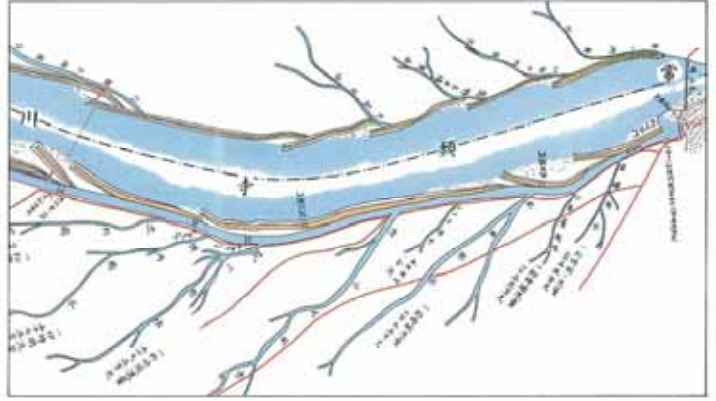
- 水源地及び標高……富山県上新川郡大山町（北ノ俣岳、標高2,661m）
- 流域面積……368km²（山地331km²、平地19km²）
- 流域平均降水量……2,721mm
- 年総流量……5億m³
- 濁水流量……1.7m³/s
- 流路延長……幹線56km 支線／真川21km、称名川9km、和田川23km、小口川20km他
- 流域内人口……23,400人（昭和55年国調）
- 想定氾濫区域面積……123.4km²

常西合口用水事業

鷹泊取水口（合口後の取水口）



合口以前の各用水取入口位置



利水の歴史

新庄赤門（明治33年11月完成）



被災後の水路掘削状況（昭和9年11月）



常西用水路県営事業工事現場（昭和37年10月）



常西幹線水路掘削状況（昭和44年12月）



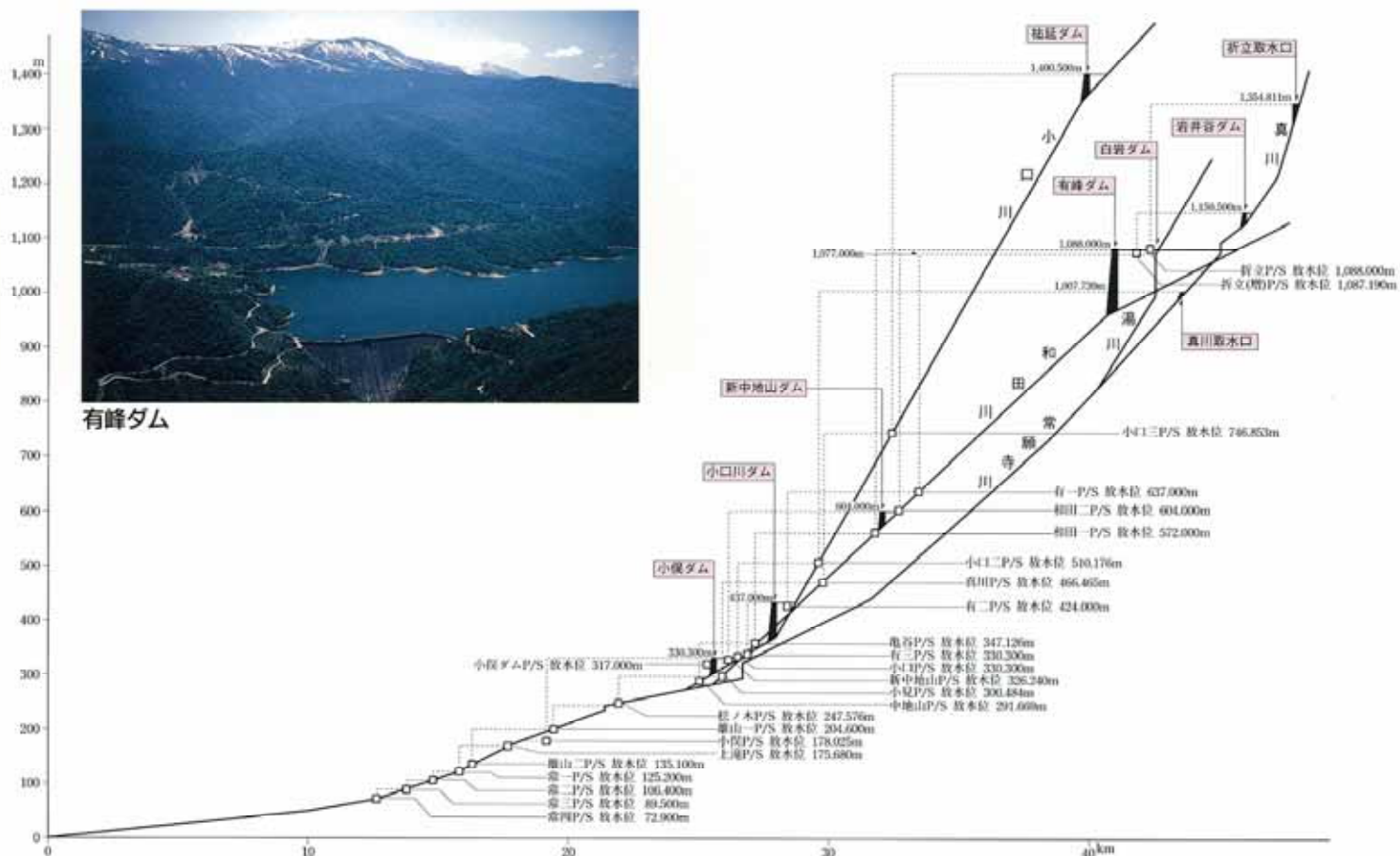
常西幹線水路上滝地内



常西幹線水路（やすらぎ施設）



常願寺川水系河川縦断位置図



やすらぎ橋



殿様林付近



常願寺川第3発電所



常西幹線水路開地内



沿革とあゆみ

- 寛文5年 ● 沿岸の土地を開拓、各用水毎の引水を行なったのが約330年前。
- 明治24年10月 ● 常西合口用水事業を、オランダの技師デレーク氏により計画。
- 明治25年2月 ● 常西合口用水工事が開始された。
- 明治25年3月 ● 上滝町外16カ町村組合を発足。
- 明治25年10月 ● 常西合口用水第1第2隧道及び上滝砂溜工事が完成した。
- 明治26年4月 ● 常西合口用水完成に伴い県より町村組合への引継ぎが行なわれた。
- 明治42年12月 ● 郡長より町村組合を廃止し、水利組合設立に関する申請書が提出された。
- 明治44年4月 ● 常西合口用水普通水利組合が設立された。
- 大正3年8月 ● 常願寺川が出水し堤防破壊16カ所、氾濫面積54,900ヘクタールにおよび大災害をもたらした。
- 大正15年6月 ● 立山砂防事務所の設置。
- 大正15年6月 ● 郡役所の廃止により県知事の指定する県の官吏がこれに当たる。
- 昭和3年8月 ● 常願寺川に河川法施行。
- 昭和7年5月 ● 常西用水路開鑿40周年記念式を挙げる。
- 昭和9年7月 ● 常願寺川が大正3年以来の水害となり堤防決壊10カ所、耕地被害4,900ヘクタールを受け歩兵第35連隊の救援を仰いだ。
- 昭和11年7月 ● 岡田砂防堰堤が着工。
- 昭和12年6月 ● 有峰ダム、和田川、大品山有峰、真川第2の各発電工事が起工。
- 昭和14年7月 ● 常願寺川合口事業の施行を農林省へ陳情。
- 昭和15年11月 ● 常西合口用水開鑿50周年記念式を挙げる。
- 昭和16年9月 ● 常願寺川国営農業水利改良事業を施行する旨の発表。
- 昭和16年10月 ● 常西用水水神社が上滝観光樓詰に竣工し祭神が鎮座した。
- 昭和17年7月 ● 常願寺川合口農業水利改良事業起工式を挙げる「農地開発営団による」
- 昭和22年9月 ● 農地開発営団の廃止により中止されていた農業水利改良事業は農林省直営事業として着工された。
- 昭和25年9月 ● ジェーン台風により用水路が被災した。
- 昭和27年3月 ● 農業水利事業で横江堰堤が竣工した。
- 昭和27年4月 ● 国営常願寺川農業水利改良事業は土地改良法に基づき国営土地改良事業に切換えられた。
- 昭和27年5月 ● 国営土地改良事業中、頭着工及び常東常西用水の共通幹線水路と分水槽までの工事が竣工し通水した。
- 昭和27年8月 ● 8月3日土地改良法に基づき常西用水土地改良区を設立し初代理事長に柴田弥一が就任した。
- 昭和28年5月 ● 農林省常願寺川農業水利改良事業は左右両岸へ荒線水を同時通水した。
- 昭和28年6月 ● 昭和17年2月着工以来工事を進めてきた農林省常願寺川農業水利改良事業は横江以北岩峠寺までの総延長4,367m、工費339,760,284円をもって取水堰堤外7カ所の施設を全部完了した。
- 昭和28年6月 ● 小又幸井が常西用水理事長に就任した。
- 昭和30年4月 ● 常願寺川有峰発電計画が発表された。
- 昭和31年3月 ● 常東、常西両土地改良区は、北陸電力A.A.P計画に反対し総代、用水関係者、町村首脳会議において決議の結果、反対署名運動を展開した。
- 昭和31年3月 ● 常東、常西農民署名簿提出の結果、知事、議会議長、常東、常西両理事長、富山市役所において合同し、北電、A.A.P計画検討の結果、意見一致仮調停ができ、29年8月発表の核計画の紛争も中止をもって解決した。
- 昭和31年4月 ● 北陸電力側A.A.P計画の解決により代案としてJ.A.P計画(有峰常願寺川電源開発)を発表した。
- 昭和31年9月 ● 有峰ダム建設所が設置された。
- 昭和32年12月 ● 北陸電力J.A.Pに関し、富山県知事を立会人とし、常西、常東土地改良区理事長と、北陸電力社長とが合意に達し、協定を締結した。
- 昭和35年7月 ● 常西用水土地改良区は連合設立認可申請書を富山県へ提出した。
- 昭和36年4月 ● 常願寺川冷水害対策期制同盟会は県知事及び北陸電力株式会社に陳情した。
- 昭和37年6月 ● 常西合口用水開鑿70周年記念式典及び県営事業の起工式挙行。
- 昭和37年8月 ● 富山市から第3期上水道事業の原水として、灌漑用水の利用を求められ、協議の結果、上水道に供給することに決定し、契約を取り交わす。
- 昭和38年4月 ● 第1期県営事業として、北陸電力の第1発電所放水口より下流、流杉分水槽を経て常願寺川放水口までの約4,000mを北陸電力の常願寺川第2発電所ないし第4発電所との共用水路として改修。
- 昭和44年4月 ● 第2期県営灌漑排水事業として流杉分水口より下流新庄排砂水門までの5,000mを単年度事業として改修した。
- 昭和46年47年 ● 新庄排砂水門から下流、国の1級河川である赤江川までの約1,500m、経堂排水路を2ヶ年間で改修した。
- 昭和47年3月 ● 常西合口用水開鑿80周年記念式典を挙げる、上滝出張所建設。
- 昭和47年11月 ● 昭和47年までの許可水利権が満了に伴い、富山市から水道用原水2.06m³/sの水利許可申請がなされたが不調。
- 昭和48年9月 ● 9月3日富山市長から北陸農政局宛に水利権の割愛申請提出。
- 昭和49年9月 ● 9月12日北陸農政局長が常西用水区域の農業用水から2.06m³/sの水量を割愛することに同意。
- 昭和50年7月 ● 常願寺川沿岸用水土地改良区連合理事長が国営造成施設の破損基だしに付、補修事業の採択方を陳情。
- 昭和50年12月 ● 建設省立山砂防工事事務所が、横江砂防ダム第3副堰堤(床固め工)工事に着手。
- 昭和51年3月 ● 建設省立山砂防工事事務所が工事中の横江砂防ダム第3副堰堤が完成した。
- 昭和51年4月 ● 常願寺川沿岸用水土地改良区連合より、常願寺川国営造成施設の整備事業を国営改良事業として施工するよう農林大臣宛に申請がなされた。
- 昭和52年1月 ● 常願寺川国営造成施設整備事業を、国営土地改良事業として施工することを適当とする旨の農林大臣決定が行われた。同じく事業計画が農林大臣において確定された。
- 昭和52年3月 ● 横江頭首工整備その1工事に着手した。
- 昭和54年5月 ● 昭和50年10月から更新の手続きをしていた常西用水から富山市へ2.06m³/sの原水を割愛することを条件として昭和60年3月までの暫定期間の許可を受けた。
- 昭和55年2月 ● 横江頭首工整備その4工事が完成し、国営施設整備事業が完成した。
- 昭和55年3月 ● 横江堰堤、幹線水路各水門自動化事業を県営事業として実施完了した。総事業費 132,374,000円
- 昭和56年4月 ● 県営灌漑排水事業として、大山町の未改修区間、2,450mの改修を計画した。
- 昭和57年4月 ● 県営灌漑排水事業として採択され全体実施設計を実施する。
- 昭和57年12月 ● 常西合口用水開鑿90周年記念行事を行う。
- 昭和58年4月 ● 常西水神社玉垣建設工事、水神社拝殿建設工事、水神社手水舎建設工事等を実施した。
- 昭和59年4月 ● 県営灌漑排水事業と並行実施の、やすらぎある農村施設整備事業を着手。
- 昭和61年4月 ● 常西用水水神社、鳥居建設工事、石碑改良工事等を実施した。
- 昭和61年4月 ● 常西用水幹線水路下流部水路改良工事を県単事業で実施した。
- 昭和62年3月 ● 暫定水利権の満了に伴い水利権の更新許可を受けた。(平成7年3月)
- 昭和62年4月 ● 常西用水、水神橋建設工事を実施した。
- 平成4年3月 ● 県単、やすらぎある農村施設整備事業を完成した。総工事費103,000,000円余り、プロムナード/2,040m、小公園/4ヶ所、休憩施設等。
- 平成4年6月 ● 常西合口用水開鑿100周年記念式典を挙行した。

常西合口用水關係水利系統圖

縮尺 1 : 50,000



凡 例	
	受益地域
	國營用水路
	常西合口管線水路
	縣營用水路
	縣營排水路
	發電水路
	堰 堤

